

5 税は大切なもの

● 税金は、社会を支えるために必要なお金です

わたしたちが納めた税金は、社会保障のため（子ども・子育て、医療、介護、年金）、安全を守るため（警察・消防など）、快適なくらしのため（道路の整備・ごみの収集）などみんなのために役立つ活動に使われています。また、災害からの復旧のためにも使われています。

税金は、わたしたちが豊かで安全にくらししていくためになくてはならないものなのです。



もしも税金がなかったら？
どのように困ってしまうかみんなで話し合ってみよう。

こんな世界になってしまうかも…



道路では「通行料」を集金する人が…



橋が壊れてもなおせない

ごみの収集がなくなり
町中がごみだらけ



公園がなくなって遊ぶ場所もない



信号も止まり、交通事故が多発!?



「道案内1件200円」交番は有料に!?



こくぜいちよう
国税庁ホームページ 税の学習コーナー ビデオライブラリー
「マリンとヤマト 不思議な日曜日」より。(国税庁HPで見ることができます。)

マリンとヤマト 動画 検索

● 納税は国民の義務

日本国憲法では、「納税の義務」を定めています。

この「納税の義務」は、「子どもに普通教育を受けさせる義務」、「勤労の義務」とならんで「国民の三大義務」の一つとされています。

日本国憲法第30条
「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」

● みんなで考えようこれからのこと

日本では、生まれてくる赤ちゃんの数が年々少なくなっています。一方、65歳以上の高齢者の数は増えています。

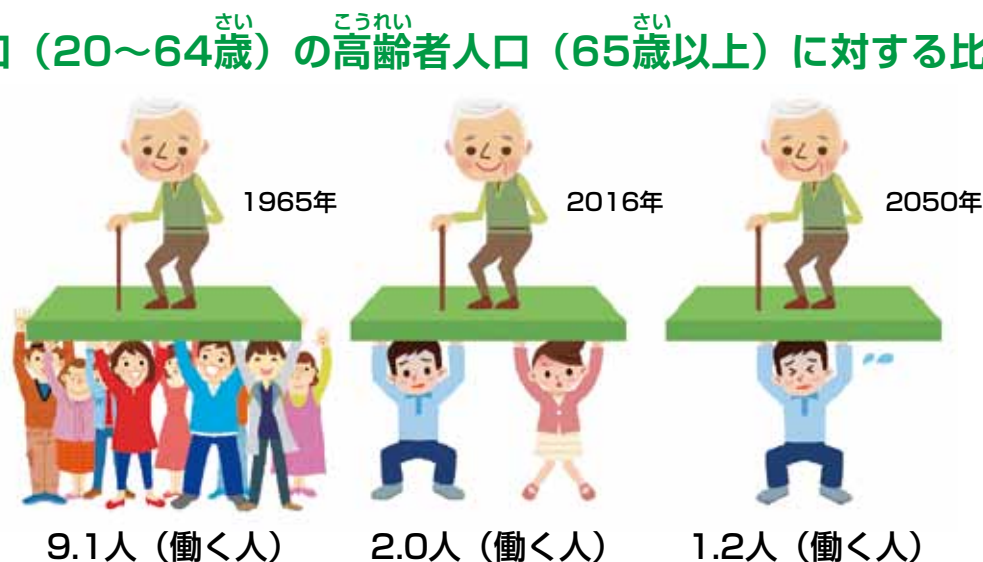
そうすると、人口に占める高齢者の割合が増え、反対に若い働く世代の割合が少なくなっていく。

このような社会を「少子高齢社会」といいます。

高齢者が増えると医療や介護、年金などに必要なお金が増えますので、今までの税金のしくみでは、これまでのようにわたしたちの暮らしを支えることが難しくなっていきます。

これからの日本は、時代にあった税金の使いみちや負担の仕方をみんなで考えていく必要があります。

◆ 働く人口（20～64歳）の高齢者人口（65歳以上）に対する比率の推移



財務省「日本の財政を考えよう」（平成28年4月）より



最後にまとめだよ。税金クイズに挑戦してみよう！

- | | |
|--|--|
| <p>1 税金はだれが納めるのかな？</p> <ul style="list-style-type: none">① 国民みんな② 働いている人③ お金持ち | <p>2 税金はどんなことに使われているのかな？</p> <ul style="list-style-type: none">① みんなの健康や暮らしを守るため② 暮らしやすいまちづくりのため③ 災害からの復旧のため |
|--|--|

こたえは裏表紙を見てね